

区庁舎の再整備状況について

1 18区の区庁舎の耐震対策の状況

		竣工	築年数	耐震対策
鶴見		昭和62年度	29	新耐震基準
神奈川	本館	昭和38年度	53	平成3年度 耐震改修済
	別館	平成 2年度	26	新耐震基準
西		昭和46年度	45	平成25年度 耐震改修済
中	本館	昭和58年度	33	新耐震基準
	別館	昭和 3年	88	平成26年度 耐震改修済
南		昭和48年度	-	平成28年1月 竣工
港南		昭和46年度	-	平成29年2月 竣工予定
保土ヶ谷	本館	昭和44年度	47	平成11年度 耐震改修済
	別館	平成11年度	17	新耐震基準
旭	本館	昭和46年度	45	平成14年度 耐震改修済
	別館	平成 6年度	22	新耐震基準
	新館	平成14年度	14	新耐震基準
磯子		平成11年度	17	新耐震基準
金沢		昭和45年度	-	平成28年1月 竣工
港北		昭和53年度	38	平成21年度 耐震改修済
緑		昭和46年度	45	平成28年3月 耐震改修済
青葉		平成 6年度	22	新耐震基準
都筑		平成 6年度	22	新耐震基準
戸塚		平成24年度	4	新耐震基準
栄	本館	昭和49年度	42	昭和61年度 耐震改修済
	新館	平成 6年度	22	新耐震基準
泉		平成 8年度	20	新耐震基準
瀬谷		平成23年度	5	新耐震基準

敷地	<p>住所：①南区浦舟町2丁目33番 ②南区浦舟町3丁目44番4地</p>  <p>①総合庁舎 (市大浦舟校舎跡地)</p> <p>②土木事務所作業所</p>	
施設の特徴	<p>【1. 地域性に配慮した庁舎】</p> <p>区の花シンボル「さくら」</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 外壁は「さくら」の花びらをイメージしたコンクリートパネルを採用 (イ) 歩道沿いには「さくら」のプロムナードを作り、ベンチを設置 (ウ) 区の地形の特徴である7つの丘をイメージした植栽を地上や屋上庭園で実施 (エ) 1階には地域の歴史資料を展示 <p>【2. 省エネで環境に配慮した庁舎】</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 近隣の市大センター病院と連携したCGS※を採用 ※コジェネレーションシステム:「電気」と「熱」を作る発電システム (イ) 熱交換杭からの地中熱を利用し、年間を通じて安定した地中温度を1階区民ラウンジの空調に利用 (ウ) 建物環境性能として「CASBEE横浜」最高位Sランク (エ) 「BEMS(ベムス)※」を導入 ※エネルギーの監視や制御を自動化・一元化するシステム (オ) 太陽光発電を採用 <p>【3. 災害に強く安全・安心な庁舎】</p> <p>発災時には区災害対策本部として機能</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 庁舎(区役所・公会堂・消防署)には免震構造を採用 (イ) 自家発電設備により、72時間電気の供給が可能 (ウ) 万が一の津波を考慮し、機械室や電気室は6階に設置 <p>【4. 区民サービスの向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 利用の多い窓口をワンフロアに集約 (イ) ユニバーサルデザインに配慮したトイレや授乳室、おむつ交換スペースなどを設置 (ウ) エントランスホール等の内装に県産木材を利用 	
延床面積 構造・規模	<p>①南区総合庁舎移転新築工事(工期:H25.12~28.1(26か月)、工事費:約102億円) 延床面積 約28,000㎡、地上7階、地下1階 【用途】区役所、公会堂(581席)、消防署、土木事務所、駐車場(132台)</p> <p>②南土木事務所作業所移転新築工事(工期:H27.6~28.1(8か月)、工事費:約2.8億円) 延床面積 約550㎡、平屋一部地上2階</p>	



屋上庭園(6階)





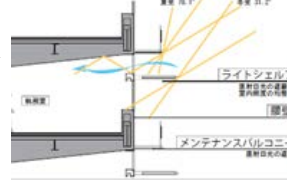
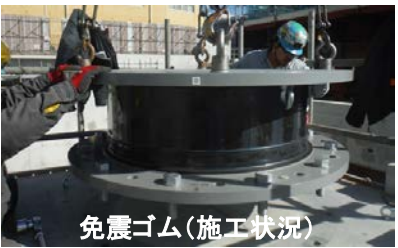

太陽光パネル(区役所屋上)

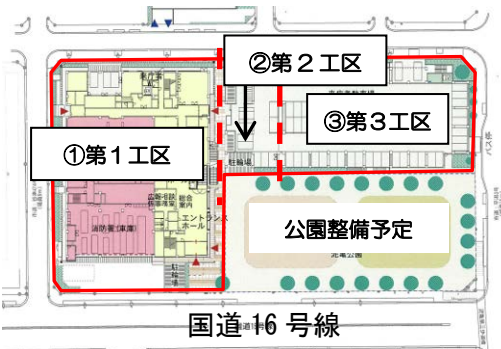
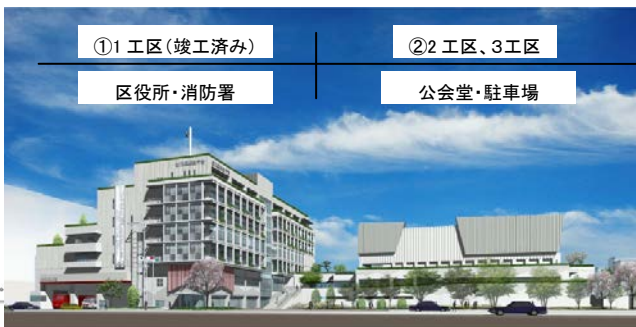






免震装置(消防署ピット内)



県産木材利用
(1階エントランスホール)

<p>敷地</p>	<p>住所：港南区港南四丁目 347 番地 22 ほか</p>  <p>②公会堂及び土木事務所 (現庁舎敷地)</p> <p>①総合庁舎 (工事中) (元刑務所敷地)</p> <p>③土木事務所倉庫等 (現庁舎別棟敷地)</p>  <p>イメージ</p>
<p>施設の特徴</p>	<p>【1. 地域性に配慮した庁舎】</p> <p>区の中心部にふさわしい賑わいと魅力ある空間</p> <p>①総合庁舎については、 (ア)敷地回りと大庇や屋上テラスに立体的な緑化を計画 (イ)日射遮蔽スクリーンには「区の花ひまわり」をモチーフパターン</p> <p>②公会堂及び土木事務所作業所については、 (ア)バス停の混雑緩和や歩行者等の利便性を向上 (イ)駅から総合庁舎への歩行者空間を整備</p> <p>【2. 省エネで環境に配慮した庁舎】</p> <p>①総合庁舎については、 (ア)地下鉄湧水を空調熱源や雑用水に利用予定 (イ)直射日光を遮蔽しつつ反射光を利用するライトシェルフを採用 (ウ)建物環境性能として「CASBEE 横浜」最高位 S ランク予定 (エ)「BEMS(ベムス)※」を導入 ※エネルギー監視や制御を自動化・一元化するシステム (オ)太陽光発電を採用</p>  <p>ライトシェルフ (南側執務室断面イメージ)</p> <p>【3. 災害に強く安全・安心な庁舎】</p> <p>発災時には区災害対策本部として機能</p> <p>①総合庁舎については、 (ア)免震構造を採用 (イ)自家発電設備により、72 時間電気の供給が可能</p> <p>②公会堂及び土木事務所作業所については、 耐震性能を確保</p>  <p>免震ゴム(施工状況)</p> <p>【4. 区民サービスの向上】</p> <p>①総合庁舎については、 (ア)利用の多い窓口を3, 4階に集約 (イ)ユニバーサルデザインに配慮したトイレや授乳室、おむつ交換スペースなどを設置 (ウ)1 階区民ホールの天井等に県産木材を利用</p>  <p>県産木材利用イメージ(区民ホール)</p>
<p>延床面積 構造・規模</p>	<p>①港南区総合庁舎移転新築工事(工期予定:H26.2~29.2(37 か月)、約 73 億円) 延床面積約 17,200 m²、地上8階/地下 1 階 【用途】区役所、消防署、駐車場(台数 49 台)</p> <p>②現庁舎解体、公会堂・土木事務所整備 (工期予定:H29.4~33.3(48 か月)、現庁舎解体・道路拡幅工事含む) 延床面積 約 5,400 m²、地上 4 階/地下 1 階 【用途】公会堂、土木事務所、区民活動支援センター</p> <p>③土木事務所倉庫等整備 延床面積 約 220 m²、平屋</p>

敷地	<p>住所：金沢区泥亀二丁目 75 番ほか</p>  
施設の 特徴	<p>【1. 地域性に配慮した庁舎】 金沢区の「歴史」と「自然」を感じる「和の趣」 (ア) 鎌倉時代からの歴史にならない、 外観は切妻屋根をデザインし、玄関上部には日よけ格子を設置 (イ) 内装には日本の伝統色を採用 (ウ) 地上部は四季の花や紅葉のきれいな中高木を中心に、 金沢区の里山に見られるオオシマザクラをシンボルとして植栽</p>  <p>【2. 省エネで環境に配慮した庁舎】 (ア) 建物の杭に埋め込んだ配管により地中熱を利用し、 年間を通じて安定した地中温度を空調に利用 (イ) 効果的な自然換気を促す吹抜け空間「エコボイド」を設置 (ウ) 建物環境性能として「CASBEE 横浜」最高位 S ランク予定 (エ) 「BEMS(ベムス)*」を導入 *エネルギー監視や制御を自動化・ 一元化するシステム (オ) 太陽光発電を採用</p>   <p>【3. 災害に強く安全・安心な庁舎】 発災時には区災害対策本部として機能 (ア) 庁舎には免震構造を採用 (イ) 自家発電設備により、72 時間電気の供給が可能 (ウ) 万が一の津波を考慮し、機械室や電気室は7階に設置</p> <p>【4. 区民サービスの向上】 (ア) 利用の多い窓口を2, 3階に集約 (イ) ユニバーサルデザインに配慮したトイレや 授乳室、おむつ交換スペースなどを設置 (ウ) 国産木材(2階の格子)や 2階廊下に県産木材を基盤材としたフローリングを利用</p>  <p>①金沢区総合庁舎改築工事(第1工区)(工期:H26.2~28.1(23か月)、工事費:約63億円) 延床面積 約15,000㎡、地上8階、【用途】区役所、消防署 ②金沢区総合庁舎改築工事(第2工区、第3工区)(工期:H29.2~H30.12 予定(22か月)) 延床面積 約5,500㎡、地上5階、【用途】公会堂・駐車場</p>
延床面積 構造・規模	

<p>敷地</p>	<p>住所：横浜市緑区寺山町 118 番地</p>  
<p>施設の特徴</p>	<p>【1. 地域性に配慮した庁舎】 歴史ある区庁舎の親しみやすさの継承と刷新 (ア) 旧庁舎を継承し、明るさを現す白を基調とした外観 (イ) 耐震改修による外付ブレースは、安全・安心を表現する深緑 (ウ) 公会堂は刷新感を表現するとともに西日を遮るルーバーをホワイト外壁面に設置</p>  <p>【2. 省エネで環境に配慮した庁舎】 (ア) 窓ガラスを更新し、冷暖房効率を高め、省エネルギー化 (イ) 西側にアルミルーバーを新設し、新たな顔とするとともにホワイト空間の環境を向上</p> <p>【3. 災害に対する耐震性の向上】 発災時には区災害対策本部として機能 (ア) 耐震壁・耐震ブレース等により、耐震性能を確保 (イ) 公会堂の講堂の天井は、耐震化</p>    <p>【4. 区民サービスの向上】 (ア) 1、2階に窓口機能を集約 (イ) イベントスペースや多目的トイレ、授乳室などを新設 (ウ) 1階EVホール腰壁など、1、2階内装に県産木材を利用 (エ) 公会堂は、壁仕上げの更新と反射板の設置などにより、音響性能を向上 (オ) 公会堂への直通エレベーターを新設</p>   <p>①緑区総合庁舎改修工事(工期:H26.6~H28.3 竣工済(21 か月)、工事費:約 22 億円) 延床面積 約 12,000 m²(改修により区役所面積は約 1,700 m²増、公会堂(508 席、EV 新設)) ②緑区総合庁舎駐車場改築工事等(工期: H28.7~H29.3) 駐車台数 約 80 台(自走式駐車場 3 段 4 層約 55 台、平面駐車場約 25 台)</p>